

平成 29 年度センター等のミッションの再定義に関する 取組状況の自己点検・評価報告書

<p>センター等名</p>	<p>ICT 基盤センター</p>
<p>全学的視点から重視する特色，担うべき役割</p>	<p>(注：第3期中期目標・中期計画策定に係る部局等ヒアリングで説明された6年後の構想等を参考に記載願います。)</p> <p>ICT 基盤センターは，沿革にあるそれまでの情報センターよりも進化した「ICT による知の基盤」を提供することを本質的なミッションとする組織としてスタートした。ICT 基盤センターが提供すべき「ICT による知の基盤」を機能面からみると</p> <p>A 本学の知的資産を安全に保持する機能 B 様々な知的活動を ICT の側面から支援する機能 C 本学の有する知的資産の価値を高める機能</p> <p>であると分類できる。</p> <div data-bbox="459 943 1366 1603" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">ICTによる知の基盤</p> <div style="text-align: center; background-color: #e0ffe0; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>本学のあらゆる知的活動</p> </div> <div style="text-align: center; background-color: #e0ffe0; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>情報政策</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #4a7ebb; color: white; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 30%;"> <p>A 知的資産を安全に保持する</p> </div> <div style="background-color: #4a7ebb; color: white; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 30%;"> <p>B 知的活動をICTの側面から支援する</p> </div> <div style="background-color: #4a7ebb; color: white; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 30%;"> <p>C 知的資産の価値を高める</p> </div> </div> <div style="text-align: center; background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>教育の情報化・情報教育推進</p> </div> <div style="text-align: center; background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>情報基盤・知識情報基盤</p> </div> <div style="text-align: center; background-color: #a0c0ff; padding: 10px; margin-bottom: 5px;"> <p>ICT基盤センター</p> </div> <p>□ ICT基盤センターの設置目的 ICTを活用した教育研究環境を提供するため、情報政策の企画立案・実施、高度情報化技術に基づく情報基盤の整備、教育の情報化及び情報教育の推進並びに知識情報基盤の整備及び活用支援を行うことを目的とする。</p> </div> <p>機能ごとに，行うべき取組みは以下のようであり，3部門が連携してこれらの取組みを実施する。また，第3期中期目標・中期計画期間に実施する本学の情報政策をまとめた「ICT マスタープラン 2016」「ICT アクションプラン 2016」と ICT 基盤センターの提供すべき「ICT による知の基盤」の3機能は整合しており，ICT 基盤センターがそのミッションを果たすことができれば，第3期の情報政策の多くは達成できることになる。</p> <p>[各機能において行うべき取組み]</p>

	<p>A 本学の知的資産を安全に保持する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報基盤に関する不断の調査研究と整備改善を行う。 ・情報システム事業継続計画（IT - BCP）への取組を推進する。 ・本学構成員の情報セキュリティリテラシー向上への取組を行う。 <p>B 様々な知的活動を ICT の側面から支援する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報教育の不断の改善と強化を行う。 ・各部局の進める教育の情報化を支援する。 ・本学教職員学生の ICT 利活用の支援を行う。 <p>C 本学の有する知的資産の価値を高める機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教学情報基盤の改善を通じ、教学情報基盤に蓄積される情報の多様な活用を図る。 ・ビッグデータの利活用支援を通じて本学のブランド価値を高める。 ・ICT を用いたイノベティブな研究を推進する。 <p>（注意）上の各取組みは、それぞれ、多くの具体的な取組みをまとめた表現になっている。</p>
<p>上記に関する 取組み状況</p>	<p>（学部・研究科を中心に全学的な期待への対応、学部・研究科への支援状況を中心に記載してください。）</p> <p>A 本学の知的資産を安全に保持する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティを最大限強化した次期情報通信基盤の構築に向け、民間企業を交えた勉強会を計 6 回実施した。 ・情報セキュリティ対策の強化、ユーザビリティ向上や運用コストの低減を目的とした、次期情報通信基盤「長崎大学キャンパス情報ネットワークシステム 一式」政府調達（資料招請）に向け、「要件説明書」を作成した。 ・NII「大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築」に参加し、情報セキュリティ対策を強化した。 ・3社3機器の不正通信検知センサーの実証評価試験を経て、不正通信検知センサーを導入し、情報セキュリティ対策を強化した。 ・「情報セキュリティ対策基本計画」の策定、「長崎大学における情報セキュリティ対策の実施に関する要項」の制定、「長崎大学における情報の格付け及び取扱制限のガイドライン」を制定し、事務局、情報企画課及び ICT 基盤センターにて情報の格付け及び取扱制限を試行した。 ・平成 28 年度に長崎県警の呼掛けに応え、本学を含む県内 14 組織で「長崎県サイバーセキュリティ相互協力協定」を締結し、情報セキュリティに関する交流を行っている。 ・全新入生向けに情報セキュリティ特別授業を実施した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・本学構成員の情報セキュリティリテラシー向上への取組として、情報セキュリティ講習会を開催した。 ・Web 脆弱性診断ツールを導入した。 ・情報倫理の学習用動画を学内に公開した。 <p>B 様々な知的活動を ICT の側面から支援する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して各キャンパスに設置した ICT サポートカウンターの活動を行っている。 ・全新生を対象として、本学の情報環境への接続説明会を実施し（2018年4月3日，5日），情報科学科目「情報基礎」においてフォローした。 ・新生向け ICT セミナー（基調講演：ブレインパッド草野会長）を開催した。 ・長崎大学生協を主催者とする形で、2018 年度新生向けの PC 初期セットアップ説明会を開催した（2018年3月24日～4月1日）。 ・LACS の複数の機能において改善と拡充を行った。 ・NU-Web の複数の機能において、利用者の要望に基づき改善と拡充を行った。 ・LACS 講習会を行った。 ・部局による e ラーニングの支援を行った（医学部）。 ・九州大学大型計算機の活用支援を行った。 ・攻撃者行動遷移モデルに基づいた標的型サイバー攻撃検知装置及びユーザロールに基づく認証・アクセス制御基盤の実証評価試験を実施した。 ・大学などの高等教育機関や研究機関において、キャンパス・研究所の無線 LAN 環境の相互提供・利用を行う eduroam サービスに参加・提供開始した。 <p>C 本学の有する知的資産の価値を高める機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン FD「著作権入門～基礎編～」及び「著作権入門～実践編～」を実施した（LACS で提供）。 ・長崎県の官民協働クラウドにて観光活性化支援システムの運用を行っている。 ・地方創生推進本部講演会として「ビッグデータと観光事業」を開催した。 ・長崎県と共同で、「長崎ビッグデータ利活用セミナー」を開催した。 ・長崎県内の自治体向けに「長崎県観光活性化支援システムの利活用セミナー」を開催した。 ・ICT を用いたイノベティブな研究を推進した。
<p>達成指標</p>	<p>（決定している達成指標を記載してください。）</p> <p>A 本学の知的資産を安全に保持する機能の強化に向けた取組み（情報セキュリティ自己点検の制度化など）の内容と件数</p> <p>B 教職員学生の ICT 利活用支援業務の内容と回数，対象人数</p>

	C ビッグデータ利活用支援事業の内容と進捗状況
達成指標の進捗状況	<p>(第3期中期目標期間中に達成する上記指標について、平成28年度末の状況を簡潔に記載してください。)</p> <p>A 本学の知的資産を安全に保持する機能の強化に向けた取組み（情報セキュリティ自己点検の制度化など）の内容と件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月に、新任教職員、新入生へ情報セキュリティリーフレットを配布し、更に情報セキュリティ自己点検システムに掲載した。リーフレットの配布部数は学生1,655名、教職員58名。 ・情報倫理の学習用動画を学内に公開し、延べ1,083件のアクセスがあった。 ・新たな脅威及びBSL-4施設の設置にも対応するための情報セキュリティ対策強化に向け、次期キャンパス情報ネットワークシステムの基本方針についてICT基盤センター運営委員会、情報政策連絡会議、連絡調整会議、学長・副学長会議に諮った。また、12月から仕様策定委員会を設置し、BSL-4施設設置の担当部署とも連携して基本設計を行い、平成30年3月までに要件説明書を作成し、資料招請手続を開始した。 ・平成29年4月に、新入生向け本学情報通信環境説明会を実施し、情報科学科目「情報基礎」において全員をフォローした。対象者1,674名。 ・平成29年4月に、新入生向けの情報セキュリティ特別授業を行った。参加者1,655名。 ・平成29年12月に、情報セキュリティ講習会を開催し、教職員・学生80名が参加した。 ・平成29年9月～3月に、情報セキュリティ基礎講習会を15回開催し、教職員43名が参加した。 ・「長崎大学における情報の格付け及び取扱制限のガイドライン」に従い、事務局、情報企画課及びICT基盤センターにて「情報の格付け及び取扱制限」を試行した。 <p>B 教職員学生のICT利活用支援業務の内容と回数、対象人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館、医学分館、経済学部分館に設置したICTサポートカウンターを学生・教職員が利用した。（学生1,731名・教職員528名） ・平成29年4月に新入生向けICTセミナー（基調講演：ブレインパッド草野会長）を開催し、150名以上の学生・保護者が参加した（申込132名）。 ・平成29年5月～平成30年3月に、教職員向けLACS講習会を22回開催し、教職員32名が参加した。 ・平成29年1月に「九州大学研究用計算機システム利用者向け講習会」を開催し、学生・教職員19名が参加した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度 2 月からサービスを開始した eduroam サービスは、延べ 634 名の利用があった。 <p>C ビッグデータ利活用支援事業の内容と進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官が連携した「COC+観光ビッグデータ活用プロジェクト」会議を計 1 回の会議開催を行った。 ・平成 29 年 3 月に長崎県の官民協働クラウド上の観光活性化支援システムの改修を行った。 ・観光ビッグデータ及び他のソーシャルビッグデータを活用できる人材（学部生・院生，社会人）を育成するためのセミナーを実施した。また、工学研究科の院生を対象とした授業科目「ビッグデータ解析概論」を開講した。 ・NTT 西、NTT アド、JCB との共同研究で収集した長崎県を周遊する外国人観光客の GPS 情報と購買情報を、匿名化されているが識別可能な情報にし、本学システムで利活用できるようにした。（収集時に利活用することは通知済み）
<p>取り組み状況等において、特に伸長した点や改善すべき点</p>	<p>ABC 3 分野のどの取り組みも本格的なスタートを切り、第 3 期の中期目標を十分に達成できる見込みである。ただし、予算的な裏付けがなくては遂行することが困難な取り組みも多く、経費節減と同時に外部資金獲得に更に心掛ける必要がある。</p>